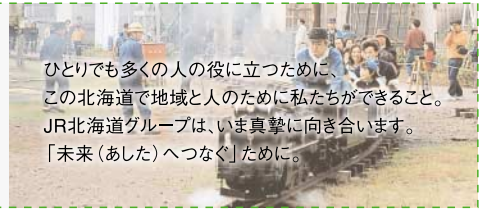


あした 未来へつなぐ

【安全】



ひとりでも多くの人の役に立つために、この北海道で地域と人のために私たちができること。JR北海道グループは、いま真摯に向き合います。「未来(あした)へつなぐ」ために。

文=本間 吾里砂

貸切バス事業者安全性評価認定を受け、安全に対する意識と安全性の高さを証明！ 『ジェイ・アール北海道バス』

安

安全性および安全に対する取り組み状況について、評価基準をクリアした貸切バス事業者を認定し、公表する「貸切バス事業者安全性評価認定制度」。昨年、日本バス協会により施行されたこの制度は、事業者の安全性を「見えるもの」に

することで、各社がお客さまに安心・良質なサービスを提供し、安全性の確保に向けた意識の向上や取り組みの促進を図るよう導くことが目的です。

昨年十一月、ジェイ・アール北海道バスも認定を受け、貸切バス部門において高い安全性を確保している

ことを証明しました。

日本バス協会の貸切バス安全性評価認定委員会より認定された証。



貸切バスだけでなく、路線バス、都市間バスすべてにおいて安全確保とCS(顧客満足)向上を徹底している。

貸切バスのほか、路線バス、都市間バスを運行する当社では、昨年六月の新社長就

シンボルマークはドアの右側に表示。2年後は2つ星、4年後は3つ星を目指す。



アルコールチェックを行った後、点呼を行います。



任に合わせて組織体制を強化すると共に、乗務員指導管理者の配置並びに社員研修室の新設など、安全性の充実に努めてきました。

以前から全車両にドライブレコーダを導入し、運行に関するものだけでなく、燃費向上、CO₂削減にも効果的なデジタルタコグラフについても全車両に設置。法令では三カ月一度の周期で実施するよう定められている点検整備を一カ月単位で実施しているほか、札

幌圏の主要営業所では、二名の運行管理者により出勤時と退社時の二回、ドライバーの健康チェックとアルコール検査を行い、徹底した管理体制を築いているのも同社ならではの取り組みです。

現在、貸切バス部門では三十五台のバスを保有しており、この認定を受けたことで、一人ひとりの意識改革とモチベーションアップも実現。また、二年後の更新時にはより一層のレベル向上が求められるため、それをクリアするという新たな目標も生まれました。

同社では評価認定の証ともなる「シンボルマーク」をすべての貸切バス三十五台に表示し、利用者に安全性の高さをアピールしていますが、次回更新時はそこに記された星が一つから二つになるよう、現行レベルを上回る安全性の向上を目指し、努力を続けていきます。